

京都府歯科保険医協会 学術講演会

かかりつけ歯科医の医療DX 進化する補綴歯科治療

参加費
無料

10月17日 土 14:30~16:30

会場 京都経済センター6階【6-D】
またはZoomによるWeb視聴

講師：宇野 光乗 先生

(朝日大学歯学部歯科補綴学分野 教授)



超高齢化社会である我が国は、早期に口腔機能を回復させる歯科医療の提供が求められている。口腔内スキャナー（IOS）、CAD/CAMに代表される医療DXは、診療時の患者負担を軽減し、技工プロセスの効率化を可能にしている。

令和8年度診療報酬改定において、CAD/CAM冠の光学印象が保険収載されることとなった。医院へのIOS導入は、印象材や石膏などの医療廃棄物を減少させ、スタンダード・プリコーションを可能にする。さらに、補綴装置の製作効率を向上させ、単冠では優れた適合精度を可能にしている。しかしながら、クロスアーチブリッジのような広範囲スキャンにおける3Dデジタル画像の歪みや縁下マージンでの印象精度には課題がある。その点、シリコーンゴム印象法は、複数支台歯や歯肉縁下部においても高い再現性を示す。

これらの特徴を鑑みてコンベンショナル印象(シリコーン)とデジタル印象は、対立的な存在ではなく、共存して様々な症例に対応していく必要がある。さらに高精度の印象に必要とされる支台歯形成、安定した咬合接触関係を有した補綴装置の設計、接着システムなど、臨床医にもとめられるスキルにも少しずつ変化が生じている。

本講演では、IOS、CAD/CAMの活用法や長期的な予後に必要な接着システムについて解説させていただき、先生方の日々の臨床にお役に立てればと思います。

お問い合わせ

TEL : 075-746-7680 FAX : 075-746-4711

京都府歯科保険医協会

MAIL : kyoto-sk@doc-net.or.jp